

施政方針 2021

令和3(2021)年第2回市議会で、山崎市長が令和3(2021)年度の施政方針演説を行いました。

政策推進課(☎77・2001 FAX72・1419)

新時代に対応する宝塚市

私たちは、新型コロナウイルスの感染拡大という、これまで誰も経験したことのない新たな事態に直面しています。これまでと同じ生活では、この危機的な状況に対応できません。本市では、国からの交付金も活用し、感染拡大防止に対応するとともに、市民の皆さんにも、新しい生活様式への対応をお願いしています。感染は予断を許さない状況が続いていますが、日常の生活を取り戻す日まで、全力で取り組んでいきます。

今を生きる市民の皆さんにとって、また、未来の宝塚市で生きていく子どもたちにとって、コロナ禍の先にある新たな時代に適合した市政が必要です。

私は、新しい発想で、一市民としての視点をもって、新時代に対応する施策を着実に進め、これからの宝塚市を創造していきます。

私の決意

市政を推進していく上で、人口減少や少子高齢化の進行、厳しい財政状況に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大など、困難な局面を迎えています。また、今後も予期せぬ困難が私たちの前に立ちはだかるかもしれません。

しかし、それを乗り越え、自然豊かで文化の薫り高く、市民力に溢れる宝塚市を、次世代に引き継いでいかなければなりません。

そのために、私は市長として、市民の皆さんと手を携え、職員の英知を結集させ、全力で正面から立ち向かってまいります。

宝塚市長 山崎晴恵



施政方針の全文はこちら

令和3(2021)年度予算に関する 主要な施策

第6次宝塚市総合計画*の6つの分野に沿って令和3(2021)年度の主要な施策をお伝えします。

*総合計画は、総合的かつ計画的にまちづくりを推進するための計画であり、市民と行政によるまちづくりの方向性を示すものです。本市が定める計画の最上位に位置し、本年度から新たな第6次宝塚市総合計画がスタートします。

1 都市経営

新規 キャッシュレスレジ等導入 3,104万円

住民票などの発行手数料や各種税金納付時の接触をなくす、セルフ精算、キャッシュレス決済機能を備えたレジを導入します。

新規 男女共同参画施策推進・DV 対策推進 358万円

コロナ禍において増えているDV被害者女性に対する一時避難所の提供や、デートDVの予防啓発と併せて、18歳から22歳までの経済的に困窮している学生への生理用品の配布などにより、不安を抱える女性の支援に取り組みます。

2 安全・都市基盤

継続 新庁舎・ひろば整備 9億3,018万円

10億32万円(債務負担行為:令和4年度)

上下水道局や危機管理センター、ネットワークセンター、子ども家庭総合支援拠点が入る新庁舎の実施設計を本年5月末に完了した後、建設工事に着手し、令和4(2022)年度の完成を目指します。また、ひろば整備については、令和5(2023)年度の完成を目指します。

新規 北部振興 160万円

空き家を活用した移住の受け皿づくりや地域情報の発信、移住希望者と地域住民とのマッチングなどについて、地域とともに取り組んでいきます。

新規 消防指令システム更新 13億1,890万円

本市と川西市、猪名川町の2市1町で共同運用している高機能消防指令システムを更新し、消防体制の充実強化を図ります。



宝塚市・川西市・猪名川町消防指令センター

3 健康・福祉

新規 認知症高齢者等個人賠償責任保険 91万円

認知症の人やご家族が安心して地域で生活を続けられるよう、認知症の人が起こした事故によって法律上の損害賠償責任が発生した際に、損害賠償金を保険で補償します。



認知症カフェの様子

継続 新型コロナウイルスワクチン接種 10億6,618万円

高齢者施設の入所者から接種を開始しており、順次、個別接種を中心に、集団接種で補完する体制で、定められた優先順位に従って実施してまいります。

拡充 地域生活支援拠点等整備 3,140万円

障りのある人の重度化・高齢化や親亡き後を見据え、地域全体で支える支援体制として、地域生活支援拠点などの整備が求められています。本年度から、地域における相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを市が運営するとともに、日常生活圏域の7地区に委託相談支援事業所を配置し、相談支援体制の充実を図ります。

新規 がん患者アピアランスサポート 236万円

医療用ウィッグなどの購入費用の一部を助成し、がん患者の心理的負担軽減や療養生活の質の維持向上を図ります。

市政運営 3つの基本方針

1. あなたにOPEN

◆市民と行政の双方向の正確な情報の共有。それが、ともに手を取り、パートナーとして、これからの宝塚市を一緒に創り上げていくための前提条件です。そのために、市は今行っていること、行おうとしていることを正しくお伝えしていきます。そして、市民の皆さんの声を聴かせていただき、批判や対立ではなく、対話と協働で、市民の皆さんの多様な力をまちづくりに生かしていきます。

◆新しい宝塚市は、市民がデザインするまちを実現するために、行政がバックアップしていくものと考えています。

2. 教育をOPEN

◆子どもを中心に、みんなが同じ方向を向いて、子どものために問題を解決していきます。

◆子どもの「声」をもっと受け止めることができるよう、教育現場を整えていきます。

◆教職員が豊かな感性と心のゆとりを持って、子どもと接することができる環境を整えるとともに、専門職である、スクールロイヤーやスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどを活用し、問題解決に結集する力を強化していきます。

◆子ども、保護者、教職員がそれぞれの立場で相談できる窓口を外部に設置したいと考えています。

3. 暮らし・経済をOPEN

新型コロナウイルス感染症対策

◆ワクチン接種の促進などに引き続き取り組みます。

◆市民の安全・安心を守る市立病院では、新型コロナウイルス感染症の重点医療機関として、感染症患者を受け入れるとともに、通常医療を安定して提供し、公立病院としての使命を果たしてまいります。

◆市内の消費喚起などの対策に取り組み、苦しい経営状況に置かれている事業者の活動を支援します。

新型コロナウイルス感染症により分断された、人と人、人と空間、人と仕事をつなぐための対策を検討していきます。



安心して暮らせるまちづくり

◆市民の誰もが性別や障害、年齢、立場などによって差別されることのない、人権が守られるまちを維持してまいります。

◆市民が安心して生活できるまちを目指し、子育て支援や高齢者支援、障がい者支援といった、支えが必要な市民への対策にも力を入れて取り組みます。

◆経済対策として、事業継続や起業などを支援し、産業・商業を活性化していきます。市内で活動している事業者の方々の、それぞれの活動が横につながることで、大きな力としていくことを目指します。

◆北部地域においては、市民や事業者の皆さんとともに、地域資源の活用による再生可能エネルギー導入をはじめとする、地域活性化に向けた取り組みを進めます。自然豊かな北部地域と南部市街地をつなぎ、地域循環型の先進都市として、本市に新たな価値を生み出し、持続可能な都市を目指します。

時代にふさわしい行財政経営を

新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、市民の暮らし方、働き方、そして人々の価値観までもが大きく変化する中、変革と協働により、これからの時代にふさわしい行財政経営を実現し、市民が日々の暮らしに豊かさを実感できる価値を創造していくために、新たな行財政経営方針を早急に策定します。

この方針のもと、これまでの延長線での発想にとらわれず、DX(デジタルトランスフォーメーショ

ン)に取り組み、スピード感を持って、従来の行財政経営の仕組みや業務の進め方を変革するとともに、社会の変化や課題に的確に対応できる組織を目指してまいります。

また、市民との協働を更に推進し、活動・活躍できる場をつくり、まちへの愛着や、誇りを育むことにより、多くの人々が住みやすい、住み続けたい、関わりたいと感じるまちを目指して、果敢に挑戦していきます。

4 子ども・教育

新規 子どもや家庭への支援

3,845万円(債務負担行為:令和4年度)

令和4(2022)年度中に、新庁舎内に子ども家庭総合支援拠点の総合相談窓口の設置を目指します。本年度は、児童福祉・保健・教育など各課が保有する子どもや家庭の情報を共有するためのシステムの構築に向け、準備を進めていきます。

拡充 私立保育所誘致整備

2億2,888万円

待機児童解消に向けて、廃園となった良元幼稚園の園舎を活用し、定員90人の認可保育所の分園整備を進めます。

新規 専門職等活用研究

38万円

学校で発生するいじめや不登校などの問題について、早期に対応するため、スクールロイヤーなどの専門職をより効果的に活用する仕組みの構築について、外部委員の参画および先進地の視察など、調査・研究を行っていきます。

拡充 GIGA スクール関連

2億4,281万円

タブレット端末を活用し、授業のICT化に取り組む一方、「(仮称)GIGAスクール活用推進計画」を策定し、誰一人取り残すことのない環境づくりを進めます。

新規 教育相談

1,880万円

不登校の小学生を対象とした拠点施設である教育支援センター小学部を、旧小浜工房館を活用して整備します。

新規 学生への支援

(基金活用)

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、学びの継続が困難となっている学生への支援制度の創設や、学生総合相談窓口の設置に取り組みます。



5 環境

拡充 再生可能エネルギーの推進

150万円

省エネルギーに加え創エネルギーや蓄エネルギーを取り入れ、年間の消費エネルギーを実質ゼロとする、「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)」を新築する際の助成金制度を創設します。

継続 新ごみ処理施設整備

681億2,775万円(債務負担行為:令和4~29年度)

新ごみ処理施設の整備と20年間の運営を一括して実施する事業者の選定準備を進めます。

新規 市営霊園の整備

877万円

市営霊園の新たな魅力づくりのため、宝塚すみれ墓苑に樹木葬式墓所を整備するための測量設計を行います。

6 観光・産業・文化

継続 新型コロナウイルス感染症対策市内事業者支援

2億8,200万円

キャッシュレスポイント還元事業、商店街お買い物券・ポイントシール事業を引き続き行い、市内の消費喚起、市内事業者の売上回復、市内経済の活性化を図ります。

新規 ウェルネスツーリズム推進

319万円

本市における観光消費額の増加につなげることを目的として、市民や来宝者が「こころ」も「からだ」も豊かになる、ウェルネスツーリズム推進事業を展開します。

新規 市花ダリアの振興

80万円

「ダリア生産拡大推進事業補助金」を創設し、ダリア産業に携わる労働力の確保、特産品開発の支援などに取り組みます。



令和3年度 予算案

市税収入などが大きく落ち込むと見込まれる厳しいものとなりましたが、コロナ禍における多くの課題に対応するとともに、施設などの老朽化対策に対応した予算編成を行いました。

